

## BYOD(Bring Your Own Device)のためのパソコンの推奨仕様について

2023 年度より本学では自律的に学ぶ力を育成するために、ノートパソコン等を持参して学ぶ BYOD (Bring Your Own Device)を推奨します。

遠隔授業の受講、レポートやプレゼンテーション資料の作成、学習支援システム(LMS)を活用した予習・復習、学修ポートフォリオ活用や e-Learning を用いた自学自習、日常的な学習活動など、様々な場面においてパソコンを活用していきます。

今後ノートパソコン等の購入を検討している場合は、次に示す「推奨仕様」をご参考ください。

なお、現在所有しているノートパソコン等が「推奨仕様」を満たしていない場合でも、改めて購入し直す必要はありません。

### 1. パソコン

形状	ノート型 PC やタブレット型 PC など、持ち運びが可能であること
重量	軽量かつ薄型であること ※毎日持ち運ぶのであれば、1.3kg 以下をお勧めします
無線 LAN	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax のいずれかに対応
バッテリー駆動時間	カタログ値 16時間以上
OS (オペレーティングシステム)	Microsoft Windows 11 以降
CPU	第11世代 Intel Core i3 以上、または、第3世代 AMD Ryzen 3 以上
メモリ	8GB 以上
ストレージ	SSD (ソリッド ステート ドライブ) 256GB 以上 ※SSD は HDD (ハード ディスク ドライブ) と比べて価格は高めですが、高速で 消費電力が低く耐久性に優れるためお勧めします
ディスプレイ	11~14型程度 (見やすさと重量のバランスがとれたもの)
キーボード	レポート作成などを考慮し、ハードウェアキーボード (物理的なキーボード) が利用可能であること。着脱式や外付けのキーボードでも可
Webカメラ	内蔵カメラ (+内蔵マイク) があること ※外付けカメラ (マイク付き) でもよいですが、内蔵型のほうが持ち運びしやすいです

※参考：最下限 PC 要件

…この要件は、利用できる PC の下限です。このスペックでは、動作はしますが快適な動作は望めません。ご注意ください。

OS：OS メーカーによるサポートが行われているもの(Windows10 以上)

CPU、メモリ：Microsoft Office 2019 が利用可能なもの(CPU:1.6GHz、2 コア以上、メモリ:4GB 以上)

その他：遠隔授業のための Web カメラがパソコンに内蔵、もしくは取り付け可能な外付け Web カメラを所有している。

## 2.ご家庭のインターネット環境

ご自宅のデータ通信環境については、利用制限のないインターネット接続環境をご準備ください。遠隔授業にはリアルタイム講義など各種動画の配信が含まれるものがありますので、ご自宅で受講する際には、無制限に利用できる光ファイバーなどのインターネット接続環境があることが望ましいでしょう。スマートフォンの最低限のデータ通信契約では通信量をまかなえない可能性がありますのでご注意ください。

大学内は Wi-Fi 環境が整備されていますので機器を登録すれば利用可能です。

以上

西南学院大学 情報処理センター